

# 大雪山アーカイブス講演会 山岳史家 清水敏一の足跡をたどる 講師プロフィール

旭川文学資料友の会 理事  
黒田 忠 (くろだ ただし)



1950年富良野市に生まれる。法政大学社会学部卒業。1975年10月北海道警察採用。32年間の在職期間中の27年間、道警山岳遭難救助隊員として活動。2004年から大雪山国立公園パークボランティア連絡会会員。2011年から2023年4月まで同会会長。2022年5月から旭川文学資料友の会 理事。『旭川文学資料館』企画展の展示作業等に従事。

山樂舎BEAR 代表  
佐久間 弘 (さくま ひろし)



新潟県上越市(旧高田市)に生まれる。15歳のときの白馬岳登山で山に目覚め、大学時代はワンダーフォーゲル部に在籍、卒業後は穂高岳山荘を皮切りに北アルプスや尾瀬の山小屋で修行する。1995年に東川町に移住後、当時の層雲峡自然センターで登山ガイドを始め、2001年に山樂舎BEARを設立し代表を務める。2008年から層雲峡ビジターセンタースタッフを兼務。現在大雪山の地名と探検史の調査に取り組んでいる。

山岳随筆家  
滝本 幸夫 (たきもと ゆきお)



1936年岩見沢市に生まれる。35年間厚生省関連行政に勤務。全道各地を巡る。1960年帯広エーデルワイス山岳会設立。1948年北海道社会人山岳会として初めて中華民国玉山遠征。この間深田久弥、田中澄江、坂本直行の知遇を得る。文筆活動の傍ら日本山岳会会員として活動。2003年同会北海道支部第11代支部長に就任。著書に「北の山・記録と案内」「北の山の栄光と悲劇」「田中澄江の歩いた北海道の山」等多数。

## 山岳史家 故 清水 敏一 (しみず としかず)

1933年京都に生まれる。

1964年岩見沢市に転住。日本山書の会会員。「大雪山房」を立ち上げる。

編著書として『大雪山文献書誌』全4巻、『小泉秀雄植物図集』、『知られざる大雪山の画家・村田丹下』、『大雪山の父・小泉秀雄』、『大町桂月の大雪山』等多数出版。

2016年東川町に転住。大雪山アーカイブス専門員として、大雪山文化を広く世に発信する。

2020年自伝『わが山の人生』出版。

2023年3月6日逝去。

DAISETSUZAN ARCHIVES NEWS

ひもとこう、先人が記録した旭岳、描かれた大自然のドラマ

## 大雪山アーカイブスだより vol.45



### 展示コーナーのご案内

## 山岳史家 清水敏一 ～わが山の人生～

登山家・山岳史家として大雪山文化に関する著作があり、特に大雪山山名の多くをつけた小泉秀雄を研究し『大雪山の父』として世に広めた功績のある清水敏一氏について、登山歴や著作等について紹介する展示を行います。



2023.7/11(火) ▶ 8/20(日)

東川町複合交流施設  
せんとぴゅあⅡ 大雪山アーカイブス

旭岳ビジターセンター 出張展示紹介 旭岳ビジターセンター内にも大雪山アーカイブス所蔵の資料を展示しています。旭岳にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

「旭岳姿見の池 命名111年」 「米軍放出品の登山用品と1970年代の日本製登山用具」

2023年6月1日(木)～8月31日(木)

2022年9月1日(木)～2023年8月31日(木)